

目次

1	VBNETDSP の操作手引き	2
1 - 1	起動画面	2
1 - 2	開始画面	2
2	画像の表示と蓄積	3
2 - 1	U S B カメラで監視画面の表示	3
2 - 1 - 1	U S B カメラ 1 台の場合	3
2 - 1 - 2	U S B カメラ複数台の場合	3
2 - 2	U S B カメラ 1 台で 6 台分表示する場合	4
3	機能説明	5
3 - 1	初期画面	5
3 - 2	表示実行画面	5
3 - 3	画面表示形式	6
3 - 4	再生	7

1 VBNETDSP の操作手引き

1 - 1 起動画面

※VBNETDSP.INI が無い時



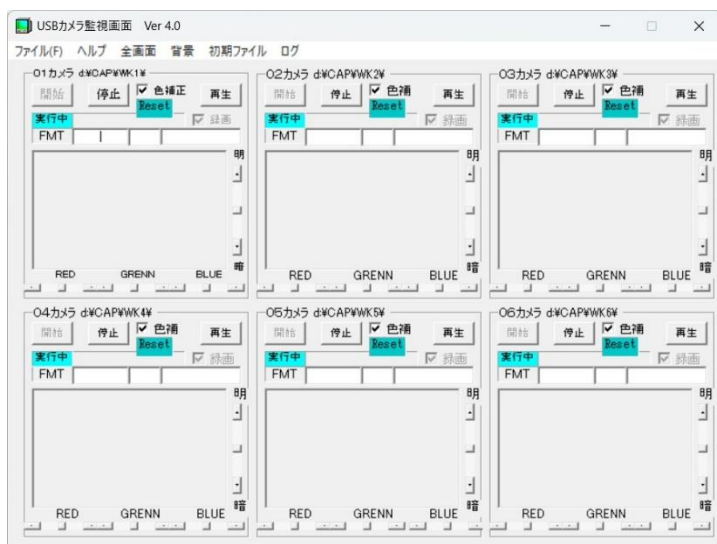
※VBNETDSP.INI が有るとき



<処理説明>

項目を設定後に状態を保存してから開始ボタンを押下する

1 - 2 開始画面



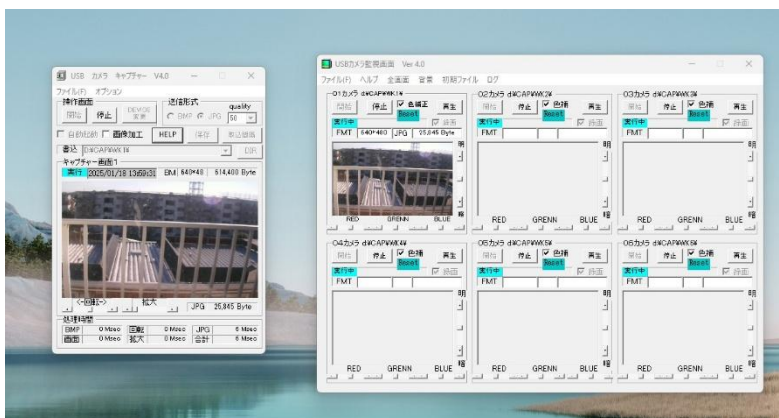
- ・ 自動にチェックが有ると起動状態が表示されます
- ・ 停止ボタンで止まります

2 画像の表示と蓄積

2-1 USBカメラで監視画面の表示

2-1-1 USBカメラ1台の場合

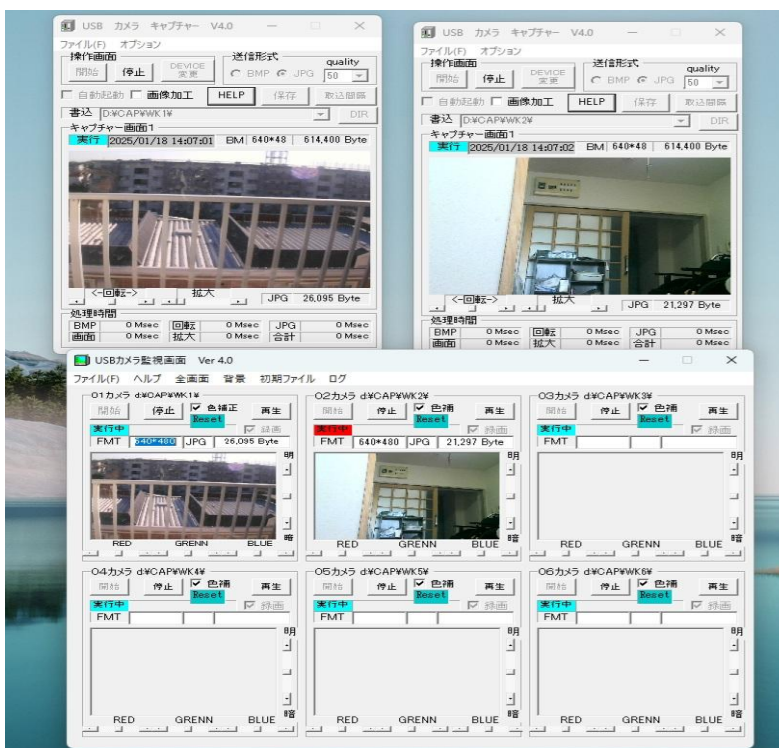
VBNETCAP.EXE を起動し監視画像をデレクトリに書き込みます



VBNETCAP で

D:¥CAP¥WK1 に書き込み
その内容を表示します

2-1-2 USBカメラ複数台の場合



VBNETCAP 1号機で

D:¥CAP¥WK1 に書込む

VBNETCAP 2号機で

D:¥CAP¥WK2 に書込む

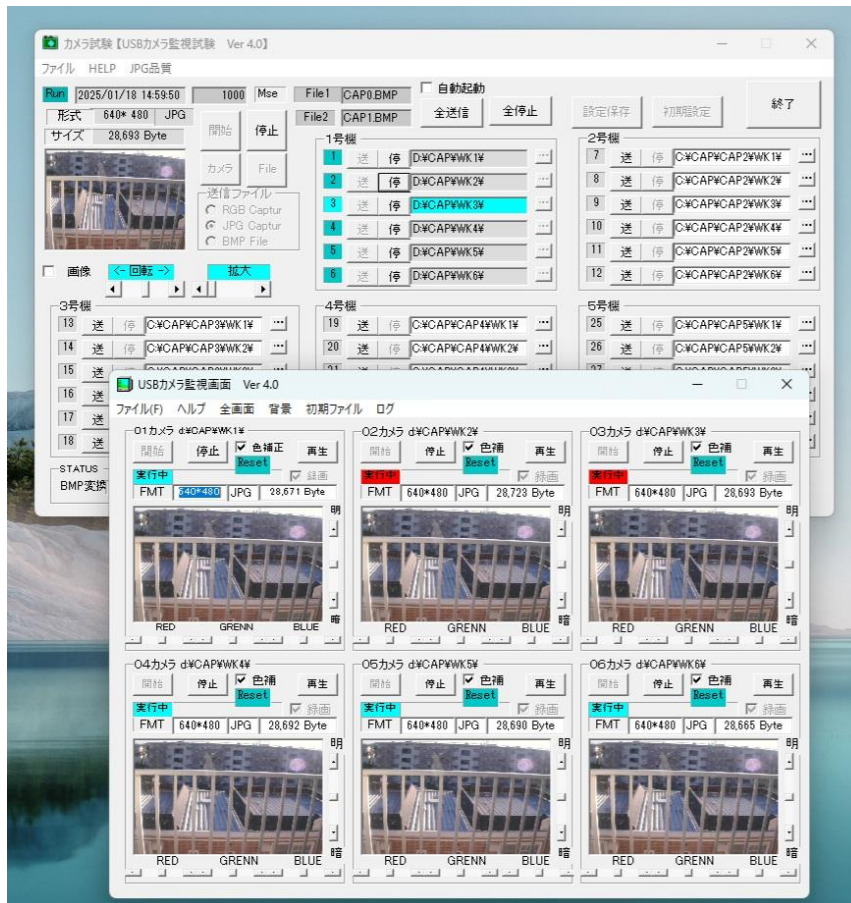
D:¥CAP¥WK1 と WK2 の
監視画像を表示します

<注意事項>

VBNETCAP は起動デレクトリを複数作って起動して下さい

2-2 USBカメラ1台で6台分表示する場合

VBNETTST を起動して6台分の画像を転送します



<処理説明>

- ・VBNETTST で USB カメラ 1 台の監視画像を D:¥CAP¥WK1 から WK6 までの6台分を送信します
- ・VBNETDSP で D:¥CAP¥WK1 から WK6 までの監視画像を表示と蓄積します

3 機能説明

3-1 初期画面

① チェックボタン

- ・ n 号機：オンの場合処理を行う
- ・ 自動 ：オンの場合自動で処理を開始します
- ・ 蓄積 ：オンの場合自動で蓄積を開始します
- ・ 色補 ：オンの場合自動で色補正を開始します

② 画面モード

- ・ 自動 ：画面の上部から 6 分割で表示
- ・ 通常 ：起動時の画面で表示
- ・ 4.3 ：全画面を 4:3 の比率で表示
- ・ Ful ：全画面で表示

③ キャプチャデレクトリ

- ・ U S B カメラ画像書き込み場所

④ ボタン

- ・ 開始 ：処理を開始
- ・ 終了 ：処理を終了
- ・ 設定保存：V B N E T D S P. I N I ファイルを作成
- ・ 購入 ： 未使用
- ・ D I R ：使用デレクトリ設定

3-2 表示実行画面

① チェックボタン

- ・ 色補正：画像の色を補正します
- ・ 録画 ：表示した画像を蓄積します

② ボタン

- ・ 開始：表示処理を開始
- ・ 停止：表示処理を停止
- ・ 再生：蓄積画像を表示

3 - 3 画面表示形式

・ 通常表示



・ AUTO 表示



・ FULL 表示

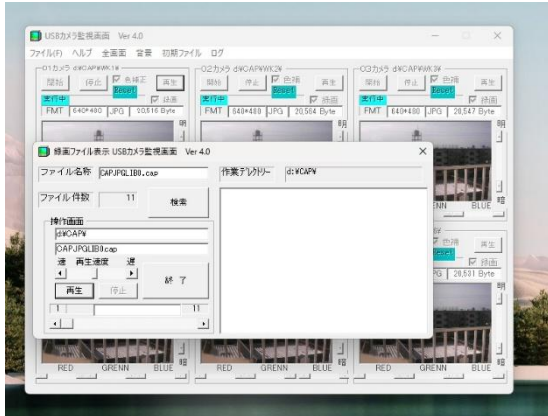


・ 4 : 3 表示

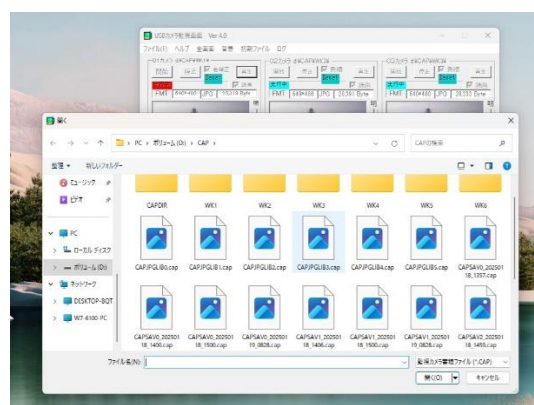


3-4 再生

- ・再生ボタン



- ・検索ボタン



- ・再生ボタン

